

04

市民生活に身近なことに予算が使われています

日常的な光景でどのくらいの予算が使われているかはわかりにくいものです。
身近なものとして実感しやすい、いくつかの例を紹介していきます。

ごみ 処理

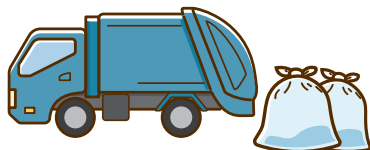
ごみ、資源物の収集処理に要する経費

ごみの収集や焼却、資源物のリサイクルにかかる経費など

年間**162億円** 世帯数:795,778世帯
(令和7年9月1日現在)

1世帯あたりの負担額

年間**20,403円**



子育て

保育園の運営に要する経費

公立保育園、民間保育園の運営費など

年間**699億円** 対象園児数:34,881人
(月平均)

園児1人あたりに必要な経費

年間**2,004,685円**



環境

公園の維持管理に要する経費

草刈や樹木の剪定にかかる経費など

年間**39億円** 公園管理面積:7,757,801㎡
(市民生活に身近な公園＝

2,500㎡あたりの経費

約2,500㎡の広さが目安)

年間**1,255,984円**



福祉

介護保険サービスに要する経費

介護サービス、介護予防の実施にかかる費用など

年間**1,225億円** 要介護・要支援
認定者数:68,398人

対象者1人あたりに必要な経費

年間**1,791,877円**



教育

「かわさきGIGAスクール構想」の推進に要する経費

学習端末の更新にかかる経費など

年間**10億円** 市立学校・学級・児童生徒数:105,077人
(令和8年5月1日現在)

生徒1人あたりに必要な経費

年間**9,563円**



防災

川崎市の防災に要する経費

マンホールトイレの整備など

年間**262億円** 川崎市の人口:1,561,780人
(令和8年1月1日現在)

市民1人あたりの負担額

年間**16,757円**

